はじめに

本市では、平成 29 年に策定した「第３期豊後大野市地域福祉計画」に基づき、すべての市民がお互いを尊重し合い、住み慣れた家庭や地域において安心した生活ができる豊後大野市、そして、子どもから高齢者まで世代や性別を超えた交流や助け合いによって、その人らしく自立した生活ができる豊後大野市を目指し取組を進めてまいりました。

一方で、近年の地域福祉を取り巻く環境は、少子高齢化や核家族化の進行、家庭や地域社会の変容等により大きく変化し、地域とのつながりの希薄化や、ひきこもり、育児と介護が重なるダブルケアの問題など、地域における生活課題が複雑化・多様化する中で、私たち一人ひとりが「支え手側」と「受け手側」を区別することなく、それぞれが役割を持って支え合いながら暮らすことのできる「地域共生社会」の実現が求められています。

こうした状況を踏まえ、本市では、令和４年度から８年度までの５年間を計画期間とする「第４期豊後大野市地域福祉計画」において、「つなぐ つながる 支え合うまち 豊後大野」を基本理念に掲げ、市民や事業者など多様な主体が関わり合い、これらに公的サービスを連携することで、公民が一体となって地域生活課題の解決に取り組むとともに、「豊後大野市成年後見制度利用促進計画」及び「豊後大野市再犯防止推進計画」を一体的に策定し、関連する分野や施策と連携した支援体制の構築を目指してまいります。

今後におきましても、地域で暮らすすべての方が、自分らしく、より安心して暮らしていくことができ、夢が持てる暮らしができるよう力を尽くしてまいりますので、市民の皆様をはじめ関係者皆様のなお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定に当たりご尽力いただきました「豊後大野市地域福祉計画策定委員会」の皆様、地域福祉に関するアンケート調査で貴重なご意見をいただきました関係機関・団体、市民の皆様に心から深く感謝を申し上げます。

令和４年３月

豊後大野市長　　川野　文敏